

# 経営改善及び連携・活用に関する取組評価 (令和2(2020)年度)

<b>法人名(団体名)</b>	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	<b>所管課</b>	健康福祉局高齢者在宅サービス課 健康福祉局保健所生活衛生課
-----------------	----------------------	------------	----------------------------------

## 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

### 本市施策における法人の役割

高齢化の継続的な進展に伴い超高齢社会を迎える中、高齢者がこれまで培ってきた経験、知識を活かして身近な地域の中でいきいきと活動することができるように、生きがいづくりの支援や就業機会の確保など社会活動を促進することが求められています。

こうした状況の中、シルバー人材センターによる働く意欲のある高齢者への臨時的、短期的又は軽易な就業機会の確保、就業を通じた生きがい・健康づくりの促進、社会参加の場の提供の役割は重要性が増している状況にあります。

また、葬祭場の運営には、施設の用途・特性を踏まえた、公益性・持続性の確保が求められることから、公益財団法人として適切な運営を確保するとともに、施設の管理運営を担うことにより、高齢者を対象とした新たな就業機会の確保を通じ、市民サービスの向上が見込まれています。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		誰もが安心して暮らせる地域のつながり・しくみをつくる	高齢者が生きがいを持てる地域づくり
	分野別計画		-

### 4カ年計画の目標

川崎市シルバー人材センター「第3期基本計画(令和2年～令和6年度)」に沿って、事業の充実と発展を図るとともに、事業の拡大と適正就業の推進のための事務局体制の強化や、予約制随時会員登録の推進により、機動的かつ効果的な事務局体制の推進を図ります。また、シルバー人材センターの認知度を高めるための様々な取り組みを行い、多くの市民や事業所等にシルバー人材センター事業に対する理解を得ながら、会員増強と事業実績拡大を図ります。

葬祭場の運営については、火葬需要の増大に対応するため、夏期・冬期の友引日開苑を含め火葬業務を着実に実施します。また、かわさき北部斎苑について、大規模改修工事期間中の安定的かつ安全面に配慮した運営に向け、市と緊密に連携しながら適切な対応を図ります。

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	シルバー人材センター受託事業	シルバー人材センター登録者数	人	5,081	5,980	5,780	<b>b</b>	<b>C</b>	<b>II</b>
		シルバー人材センターを通じて、仕事に就いた高齢者の数	人	2,348	1,873	1,864	<b>c</b>		
		事業別の行政サービスコスト	千円	24,551	16,700	△ 7,356	<b>1)</b>		
②	川崎市葬祭場管理運営事業	火葬件数の確保	件	10,324	12,000	10,883	<b>b</b>	<b>B</b>	<b>I</b>
		市との連絡調整会議開催数	回	12	12	12	<b>a</b>		
		苦情件数	件	12	6	6	<b>a</b>		
		事業別の行政サービスコスト	千円	175,166	226,746	224,024	<b>1)</b>		

### 3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	契約高の向上による財務状況の改善	契約金額	千円	1,261,805 (派遣 68,896)	919,000	938, 204 (派遣 112,564)	a	A	I

### 4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	業務の能率向上	職員の研修参加件数	件	6	5	6	a	C	II
		関係機関会議出席件数	件	22	25	16	c		
②	適正な指定管理業務の運営	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I
③	効率的・効果的な施設運営に向けた法人内の連携	斎苑連絡会議の開催数	回	12	12	12	a	A	I

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

### 各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和元(2019)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

市総括コメントにおいて指摘のあったように、労働者派遣事業については着実に増加が見られるものの、当センターの主体事業に係る事項である受託事業の契約金額や就業実人員においては減少していることから、引き続き受注実績の拡大に努めていきます。

また、第3期基本計画(令和2年～令和6年)の策定に伴い、経営改善及び連携・活用に関する取組評価の令和2年及び令和3年度の取組評価指標に係る目標値を修正いたしました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛等の影響から、新規会員の登録数にも影響が表れており、入会促進を図るための認知度向上等の取り組みが必要です。

このため、感染防止対策を講じながらの訪問活動やチラシ配布、関係施設へのポスター掲示に加え、在宅者にも目に付きやすい情報誌への広報掲載など広範囲な普及啓発活動を実施しています。

また、第3期基本計画に基づき、会員の現況の確認や、ニーズ、意向等を的確に把握するため、会員への調査を実施するとともに、補足指標である労働者派遣事業の実績の活用についても検討していきます。

葬祭場指定管理業務では、本市との緊密な連携により、北部斎苑の駐車場改良工事期間中、利用者の安全対策に配慮し、事故無く火葬業務等を継続実施するとともに、南部斎苑での友引日開苑の実施等により、本市施策に貢献しました。

新型コロナウイルス感染症防止対策として、換気対策や館内の消毒等を適切に実施するとともに、葬祭事業者との連携により、利用者に対して3密を避けた利用を周知するなど取組を行いました。また、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方の火葬実施にあたっては、施設・職員の感染症防止対策、及び御遺族のプライバシーに配慮した対応を講じていきます。

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメント】

適正就業の推進や高齢者の定年延長等の雇用環境整備等、社会経済状況の変化に加え、新型コロナウイルス感染症による外出自粛や企業活動の停滞が、シルバー人材センター事業に大きく影響したものと考えられ、施策推進に関する指標である、会員登録者数及び就業実人員は目標値を下回りましたが、経営健全化に関する指標である受託事業の契約金額は目標値を達成しており、補足指標としている労働者派遣事業の実績も増加している点は評価できます。また、行政サービスコストについては、新型コロナウイルス感染症の影響による事業縮小、職員の退職等による影響が大きいと考えられますが、国庫補助の増額もあり、目標値を満たしている点も評価できます。

引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、シルバー人材センターの認知度向上を図るための普及啓発活動のほか、就業機会のマッチング向上を図るための意識調査、課題検証等に積極的に取組むことなどを通じて、施策推進に関する指標の目標値を達成することに期待します。また、事業実績の拡大等による行政サービスコスト削減の取組を継続するとともに、研修への参加等を通じた職員のスキルアップ、事務局体制の強化を継続し、更なる効率的な事業展開に期待します。

葬祭場指定管理業務については、かわさき南部斎苑の空調設備及び照明LED化工事やかわさき北部斎苑の大規模改修工事を実施する中、友引日開苑や南北斎苑の工事期間を分け、両苑で火葬受入件数を確保する対応を図りました。火葬件数は目標値には達成しませんが、前年値を超える実績となりました。特に、かわさき北部斎苑の駐車場改良工事については、案内や誘導方法等を工夫することで工事に伴う事故を招かなく運営を継続できたことや、利用者からの苦情については、本市との緊密な連携により、苦情の再発防止策を講じるなど、葬祭場の安心・安全で円滑な運営の確保に寄与した取組について評価できます。

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方の火葬については、葬祭業者と連携体制が取れずに苦情となる事例があったものの、法人内で対応について見直しを図り、その後は感染症防止対策を講じつつ、葬祭業者と連携して実施しているため、引き続き適切な対応を望みます。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課
----------	----------------------	-----	-----------------

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和2(2020)年度)

事業名	シルバー人材センター受託事業
<b>計 画 (Plan)</b>	
指標	①シルバー人材センター登録者数、②シルバー人材センターを通じて、仕事に就いた高齢者の数
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粗入会率を上げ、一般に事業の啓発を図るためには登録会員数の増加が必要です。</li> <li>・今後もより多くの会員に仕事を提供し、高齢者の生きがいを高め、就業機会の確保を図ることが必要です。</li> </ul>
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員募集の広報活動として、市広報掲示板など各種広報媒体への記事の掲載等を充実させ、更に効果的な広報を検証し新規入会会員を獲得します。</li> <li>・就業機会創出活動による受注拡大、会員募集活動による登録会員数の増加、会員組織の活用による事務処理の効率化を図り、就業実人員数の増加を図る体制を整えます。</li> </ul>
具体的な取組内容	<p>「指標①」については、会員によるチラシ等の配布や、ポスターの設置等PR活動を強化、女性会員や技能職会員の入会促進に向けた就業場の確保、講習会の開催等実施するとともに、予約制随時会員登録説明会の推進により、新規会員及び女性会員の確保に努めます。</p> <p>また、「指標②」については、連動する新規受注の確保をするため、家庭、企業、公共機関等に対する積極的な訪問活動と広報活動を行うとともに、社会情勢の変化など分析や、就業機会のマッチング向上を図るための既存会員に対する意識調査について検討実施を行います。</p>

## 実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標①関連】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策により、街頭やイベント会場でのチラシ等の配布が困難な中、チラシ、ポケットティッシュ等を各区役所や市民館、いこいの家等へ配架するとともに、市地域包括ケアシステムポータルサイトでの漫画によるPRや、認知度向上を図るため、神奈川県シルバー人材センター連合会に協力してポスターを作成し、市内商業施設へ掲示しました。また、地域情報誌「タウンニュース」に、川崎市シルバー人材センターの紹介記事及び会員募集の広告を掲載しました。</p> <p>また、市主管課の協力のもと、シニア世代の情報誌「楽笑」への会員募集チラシの掲載や、高齢者特別乗車証送付時に会員募集チラシを同封し、川崎アゼリアの広報展示ブースを利用した会員募集のパネル展示を実施しました。</p> <p>技能職会員の入会促進のため、神奈川県シルバー人材センター連合会に協力して、植木剪定講習会1回及び除草講習会3回を実施しました。</p> <p>女性会員については、広報活動及び随時会員登録制度の推進により、女性会員の比率は、僅かながらも増加しました。</p> <p>【指標②関連】</p> <p>多くの会員に就業機会を提供するため、新規入会会員はもとより、一定期間就業がない会員に対して就業紹介のための、積極的な声掛けを行うとともに、ワークシェアリングについて、発注者にご理解いただけるよう努めました。また、就業機会のマッチング向上に資するため、発注者及び登録会員に対してアンケート調査を実施しました。</p> <p>発注者回答件数 240件/410件          会員回答件数 2,905件/5,824件</p>
----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標			目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	シルバー人材センター登録者数	目標値	実績値	5,081	5,250	5,500	5,980	6,260	人
	説明	シルバー人材センターに登録した会員数							
2	シルバー人材センターを通じて、仕事に就いた高齢者の数	目標値	実績値	2,348	2,510	2,520	1,873	1,893	人
	説明	シルバー人材センターの就業実人員							
指標1 に対する達成度		<b>b</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満						
指標2 に対する達成度		<b>c</b>	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載						

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により外出自粛が要請された影響から、新規登録会員数の減少に加え、退会会員も増加し、登録会員数は目標値を下回る結果となりました。また、就業実人員においても、新型コロナウイルス感染症の影響による会員の就業意欲や就業機会の低下から、目標値を下回りました。

本市 による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		<b>C</b>	シルバー人材センター会員数・就業実人員ともに、目標を下回りました。これは、適正就業推進や高齢者の雇用環境整備等、社会経済状況の変化に加え、新型コロナウイルス感染症による、外出自粛や企業活動の停滞が大きく影響していると考えられます。そのような状況下においても、両指標の実績値は目標値の90%を上回っており、高齢者の就業の場の確保に係る施策として、一定の成果があったものと考えます。

行政サービスコスト			目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	実績値	24,551	16,984	16,800	16,700	16,600	千円
	説明	直接事業費ー直接自己収入							
行政サービスコストに対する達成度		<b>1)</b>	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上						

### 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

収入では、派遣事業実績拡大に伴い、国庫補助金が前年度から4,051千円の増額確保ができました。支出では、新型コロナウイルス感染症に伴う普及啓発活動等の事業縮小及び職員の退職等により、例年に比べ費用が減少したことから、行政サービスコストの実績値は減少しました。  
【参考】 令和元年度 国庫補助金40,172千円 令和2年度 国庫補助金 44,223千円

本市 による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		<b>(2)</b>	施策推進に関する指標の目標値は達成できませんでしたが、国庫補助の増額もあり、行政サービスコストは大きく減少しており、目標値を達成することができたため。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響や職員の退職等によるコスト減少が大きいと考えられるため、引続き、直接自己収入の増額に努める必要があります。

## 改善 (Action)

実施結果(Do) や評価(Check) を踏まえた 今後の取組の 方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	<b>II</b>	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止

## 本市施策推進に向けた事業取組②(令和2(2020)年度)

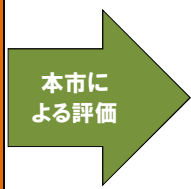
<b>事業名</b>	川崎市葬祭場管理運営事業
<b>計画 (Plan)</b>	
<b>指標</b>	①火葬件数の確保、②市との連絡調整会議の開催、③苦情件数
<b>現状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者人口の増加に伴う火葬需要の増大への対応が求められています。</li> <li>・家族葬の増加など葬儀形態の変化に伴う多様なニーズへの対応が求められています。</li> <li>・かわさき北部斎苑の大規模改修工事に伴う運営について、安全性を確保したうえで、安定的な運営が求められています。</li> </ul>
<b>行動計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期、冬期の火葬需要が増加する時期において、友引日開苑を実施することで火葬需要への対応を図ります。</li> <li>・市と連絡調整会議を定期的に開催し、情報の共有を行い、苦情・要望等の課題解決に向けた取り組みを推進します。</li> </ul>
<b>具体的な取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①火葬件数の確保について、令和2年度は、南部斎苑で空調及び照明の大規模改修工事が予定されており、火葬件数の減少が見込まれます。一方北部斎苑では、駐車場の改修工事が完了しますので、火葬件数を増加いたします。両斎苑で火葬件数を調整し、目標値を達成できるように努めます。</li> <li>②市との連絡調整会議は、計画どおり、原則として毎月1回開催いたします。</li> <li>③苦情件数につきましては、苦情の原因を精査して再発防止に努め、削減を図ります。</li> </ul>

## 実施結果 (Do)

<b>本市施策推進に向けた活動実績</b>	<p><b>【指標1関連】</b> かわさき北部斎苑では、昨年度に引き続き上半期に駐車場の大規模改修工事を実施しました。また、かわさき南部斎苑では、下半期に空調設備の更新工事と照明のLED化工事を実施しましたが、南北斎苑で工事期間を分け、両苑で火葬受入件数を調整して対応しました。さらにコロナウイルス感染症で亡くなった方の火葬実施日に一般の火葬件数を制限したため、南部斎苑は5,513件、北部斎苑は5,370件の合計10,883件となり、目標値を下回る結果になりました。</p> <p><b>【指標2関連】</b> 毎月1回市との連絡調整会議を開催、斎苑の管理運営に関する諸課題等について協議し、市と情報を共有しながら様々な課題の解決に努めました。</p> <p><b>【指標3関連】</b> 苦情件数は、前年度を4件下回る6件で目標値を達成しました。職員の対応に関するものが5件、施設に関するものが1件でした。新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方の火葬について、葬祭業者と連携が図れず、不適切な対応となった事例については、業務改善につなげるなど苦情の原因を精査し、都度改善を図りながら、苦情の削減に努めました。</p>
-----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	火葬件数の確保	目標値	/	10,300	10,300	12,000	12,000	件
	説明 南北両斎苑での火葬を安定的に実施します。火葬需要の増加への対応に向け、北部斎苑改修工事後は件数の増加を図ります。 ※個別設定値: 9,808(現状値の95%)	実績値	10,324	10,527	10,819	10,883		
2	市との連絡調整会議開催数	目標値	/	12	12	12	12	回
	説明 毎月1回川崎市と共同体との連絡調整会議を開催することで情報共有を図り、課題解決に向けた調整を行います。 ※個別設定値: 11(現状値の95%)	実績値	12	12	12	12		
3	苦情件数	目標値	/	12	12	6	6	件
	説明 利用者に対して的確かつ丁寧な対応を心掛けることで、苦情の件数を最小限に抑える。 ※個別設定値: 13(現状値の105%)	実績値	12	12	10	6		
指標1 に対する達成度		b						
指標2 に対する達成度		a						
指標3 に対する達成度		a						
<b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b>								
<p>火葬件数が目標値を下回ったことについては、南北斎苑の大規模改修工事のため、火葬件数を制限せざるを得なかったことが大きく影響しています。また、新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の火葬が、1月から2月にかけて急増したことにより、一般葬儀と時間帯を分けて実施したことも影響しています。</p> <p>市との連絡調整会議については、毎月1回計画どおり開催し、課題等について市と協議することができました。</p> <p>苦情件数については目標値を達成しましたが、職員の対応が原因の苦情が多かったため、職員の接客改善に努めます。新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方の火葬については、葬祭業者との連携が図れず不適切な対応となり、葬祭業者からの苦情につながったことから、葬祭業者との連携について業務改善を図りました。</p>								

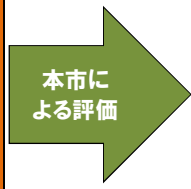


達成状況	区分		区分選択の理由
	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った		

行政サービスコスト			目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト		目標値		198,822	204,828	226,746	229,003	千円
	説明	直接事業費－直接自己収入	実績値	175,166	197,628	210,282	224,024		
行政サービスコストに対する達成度			1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上					

**法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)**

委託業務の見直し、消耗品の節約や職員の勤務体制の見直しによる時間外勤務の縮減等でコスト削減に努め、実績値を目標値未満にすることができました。



費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分		区分選択の理由
	(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である		

**改善 (Action)**

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

### 3. 経営健全化に向けた取組①(令和2(2020)年度)

項目名	契約高の向上による財務状況の改善
<b>計画 (Plan)</b>	
指標	契約金額
現状	公共系、企業系の大口の顧客を獲得することにより契約金額が伸びる傾向があるため、多くの登録会員を就業させるための大口契約の受注拡大を図り、財源確保に努める必要があります。
行動計画	就業機会創出活動、会員募集を効果的に行い、受注件数と登録会員数を増加させることで契約金額の増につなげます。
具体的な取組内容	一般家庭、民間企業、公共機関等に対して、就業機会の確保と拡大に向けて積極的な訪問活動と広報活動を行い、併せて、利用者のニーズに合った新規受注に向けた多様な取組みに努めます。 ① 役職員と会員による就業開拓の拡大 ② 就業機会創出員による民間企業、団体等への訪問活動の充実とあり方の検討 ③ 事業の普及啓発及び広報活動の充実 ④ 労働者派遣事業等の推進

### 実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標関連】</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、会員の訪問活動が制限される中、役職員による公共施設及び高齢者関係機関への訪問を実施し、シルバー人材センター事業の普及に努めました。</p> <p>就業機会創出員による活動では、緊急事態宣言の解除後、感染に注意しながら、市内民間企業、団体等580件に対して訪問活動を実施し、請負・委任及び労働者派遣事業に係る発注者ニーズの発掘や新規発注者の開拓など、普及活動に努めました。</p> <p>また、積極的かつ効果的な事業の普及及び広報活動を推進するため、他市シルバー人材センターの取り組みをホームページ等で調べ、詳しい内容を直接担当者に聴き取るなど、関係団体等の普及活動を参考に、R3年度の実施に向けて検討を行いました。</p> <p>労働者派遣事業等の推進については、就業機会創出員及び職員による派遣先への訪問活動を実施し、新規受注や派遣会員の増員の確保に努めるとともに、県シルバー主催の派遣事業推進対策会議に出席し、情報共有や事業展開について協議しました。</p> <p>【 R2年度 労働者派遣事業実績: 契約件数 368件、契約金額 112,563,843円 】</p>
---------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	契約金額	目標値		1,290,000	1,320,000	919,000	931,000	千円
	説明 シルバー人材センターが受注した契約金額(なお、目標値は請負・委任による額であり、その達成度をもって評価するものとするが、実績値に派遣*による額を別掲の補足指標として加える) ※神奈川県シルバー人材センター連合会との委任事務契約による事業	実績値	1,261,805 (派遣68,896)	1,133,443 (派遣84,360)	1,060,769 (派遣104,636)	938,204 (派遣112,564)		
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
<b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b> 主体事業である請負・委任については、大手流通業の事業撤退が一部延期となり、契約金額の減少が予測を下回ったことに加え、市バス車両清掃業務などの新規受注の確保により、目標値を上回る契約金額となりました。また、補足指標である労働者派遣事業の実績についても、流通業界の人手不足による新規受注が増え、契約金額が前年度に比べ7.6%増加しました。								

	<b>達成状況</b>	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b> 市バスの車両清掃業務等の新規受注確保等により、目標値を達成しており、補足指標としている、労働者派遣事業の実績も増加しているため。

### 改善 (Action)

<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性</b>	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I 新型コロナウイルス感染症による影響に留意しつつ、引き続き、新たな普及啓発方法等についての検討を継続し、目標値を達成できるよう、取り組んでまいります。

### 4. 業務・組織に関する取組①(令和2(2020)年度)

項目名	業務の効率向上
<b>計画 (Plan)</b>	
指標	①職員の研修参加件数、②関係機関会議出席件数
現状	事業の拡大と適正就業の推進のための事務局体制の強化には職員のスキルアップが必要不可欠です。また、関係機関との会議に出席し、常に最新の情報を確保することで、職員の知識の向上や効率的な事業展開に寄与できると考えます。
行動計画	より効率的な事業推進体制の強化を構築するため、内外問わず開催される関係機関の職員研修に参加し、個々のスキルアップを図ります。 また、関係機関等への会議に積極的に参加し、知り得た情報を法人で共有し、業務拡大に役立てます。
具体的な取組内容	「指標①」については、関係団体が実施する研修会、派遣事業及び職業紹介事業講習会等に参加し、職員のスキルアップを図ります。 また、「指標②」については、変化する社会情勢に的確に対応するため、事業関係団体の会議へ積極的に出席し、情報交換をすることで、常に最新の状況を把握してまいります。

### 実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標①関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣元責任者講習会(全国シルバー主催) ・高齢者職業紹介責任者講習会(全国シルバー主催) ・安全就業研修会(県シルバー主催)</li> <li>NRIシステムユーザー研修会(野村総研:オンライン) ・NRI経理担当者研修(野村総研:オンライン)</li> </ul> <p>【指標②関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理事会(県シルバー主催) ・事務局長会議(県シルバー主催) ・高齢者在宅サービス課・シルバー人材センター連絡会議</li> <li>企業向け動画制作会議(県シルバー主催) ・政令市ブロック会議(県シルバー、横浜シルバー、相模原シルバー共催)</li> <li>会員拡大就業開拓担当者会議(県シルバー主催:オンライン) ・適正就業担当者会議(県シルバー主催:オンライン)</li> <li>福祉・家事援助サービス担当者会議(県シルバー主催:一部オンライン) 他</li> </ul>
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	職員の研修参加件数	目標値	6	5	5	5	5	件
	説明 職員のスキルアップに伴う研修会参加件数	実績値		20	18	6		
2	関係機関会議出席件数	目標値	22	25	25	25	25	件
	説明 市及び関係機関との会議等の出席	実績値		28	28	16		
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2に対する達成度		c	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
<b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b> 職員の研修会参加については、新型コロナウイルス感染症により多くの研修会が中止となり、実績値は前年に比べ減少しましたが、業務システムに関するオンライン研修会に参加し、目標を達成しました。市及び関係機関との会議については、新型コロナウイルス感染症により多くの会議が中止となり、結果として目標を下回りました。								

	<b>達成状況</b>	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C 新型コロナウイルス感染症の影響により、関係機関会議出席件数は目標の達成ができなかったが、職員の研修会参加数は目標を達成しており、職員の資質向上に努めていると評価できるため。

### 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	Ⅱ	新型コロナウイルス感染症対策で多くの会議及び研修会等の開催が中止されていますが、職員の業務遂行に必要な知識やスキルの向上は、当センターの円滑な事業展開には欠かせませんので、新型コロナウイルス感染症対策が講じられた会議、研修会等に参加するとともに、オンライン会議、研修会等にも積極的に参加してまいります。



法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局保健所生活衛生課
----------	----------------------	-----	---------------

業務・組織に関する取組②(令和2(2020)年度)	
項目名	適正な指定管理業務の運営
計画(Plan)	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	葬祭場の管理運営に関する協定書に基づき、コンプライアンスを遵守し適切に施設の運営管理を行っています。
行動計画	公の施設の指定管理者として、南北斎苑施設の管理・運営を行うに当たり、法令順守を前提として公務に従事しているという高い倫理観を持ち合わせた上で、真摯に業務を遂行します。
具体的な取組内容	葬祭場の運営において公益性の確保が求められていることや、市の使用料徴収業務の受託者として各斎苑窓口で多額の現金取扱いもあることから、各斎苑で研修やミーティング等を実施し、コンプライアンスに反する事案の発生防止と使用料徴収に伴う事故防止に努めます。

実施結果(Do)	
業務・組織に関する活動実績	【指標関連】 南北斎苑では、ミーティング等でコンプライアンスに関する意識の向上を図りました。コンプライアンスに反する事案や使用料徴収に伴う事故は発生しませんでした。

評価(Check)								
業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	0	0	0	0	0	件
	説明	コンプライアンスに反する事案の発生件数						
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
南北斎苑では、式場使用料や火葬料等を窓口で現金收受しています。また、死亡者等の個人情報も取り扱っています。今までコンプライアンスに反する事案は発生しておりませんが、職員一人ひとりが注意して適切に業務を遂行してまいります。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った 南北斎苑において、日常のミーティングやOJTを通じ、コンプライアンスに対する職員の意識啓発を行うことで、コンプライアンスに違反する事案を発生させることなく、適切に葬祭場の管理運営業務を遂行しています。

改善(Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
		Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局保健所生活衛生課
----------	----------------------	-----	---------------

業務・組織に関する取組③(令和2(2020)年度)	
項目名	効率的・効果的な施設運営に向けた法人内の連携
計画(Plan)	
指標	斎苑連絡会議の開催数
現状	高齢化による火葬需要の増加や葬儀形態の多様化により、火葬件数増加への対応や多様化する葬祭場利用者のニーズに対して、各斎苑とも少人数にて適切に施設の管理運営を行っております。
行動計画	斎苑連絡会の定期開催により法人内の連携強化を図ります。
具体的な取組内容	斎苑連絡会議は、シルバー人材センター本部職員(役職者)と南北斎苑長による会議で、毎月1回定期的に開催し、様々な情報の共有化を図り、課題や苦情等について協議します。

実施結果(Do)	
業務・組織に関する活動実績	【指標関連】 斎苑連絡会議は、シルバー人材センター本部役職者と南北斎苑長が出席して、毎月1回開催しています。南北斎苑における情報や課題等を共有することで、斎苑の管理運営を適切に実施しました。

評価(Check)								
業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	斎苑連絡会議の開催数	目標値	12	12	12	12	12	回
	説明 法人本部、各斎苑職員による連絡会議の定期開催により情報共有・課題対応等の検討を行います。 ※個別設定値:11(現状値の95%)	実績値		12	12	12	12	
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
毎月会議を開催することで、南北斎苑の情報や課題等を共有化し、斎苑の管理運営に反映できた。								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った  法人本部及び各斎苑長との定期的な連絡会議の開催により、苦情対応や運営上の課題に関する共通認識を図り、苦情の再発防止策や課題解決に向けた検討を行うことで、円滑な施設運営と利用者の満足度向上に取り組んでおり、本市施策に寄与しました。

改善(Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

## ●法人情報

### (1) 財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)				
	経常収益	1,420,266	1,376,014	1,276,182	
	経常費用	1,423,519	1,363,916	1,246,766	
	当期経常増減額	△3,253	12,098	29,416	
	当期一般正味財産増減額	△3,253	12,098	29,416	
(指定正味財産増減の部)	当期指定正味財産増減額				
	正味財産期末残高	195,889	207,987	237,403	
貸借対照表	総資産	465,204	484,556	512,848	
	流動資産	245,848	261,908	317,048	
	固定資産	219,356	222,648	195,800	
	総負債	269,315	276,569	275,445	
	流動負債	174,273	170,824	199,962	
	固定負債	95,042	105,745	75,483	
	正味財産	195,889	207,987	237,403	
	一般正味財産 指定正味財産	195,889	207,987	237,403	
エラーチェック		OK	OK	OK	OK
本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金	47,736	51,966	53,803		
委託料	133,739	135,689	122,036		
指定管理料	199,773	208,095	227,919		
貸付金(年度末残高)					
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)					
出捐金(年度末状況)	10,000	10,000	10,000		
(市出捐率)	30.6%	30.6%	30.6%		
財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)	141.1%	153.3%	158.6%		
正味財産比率(正味財産/総資産)	42.1%	42.9%	46.3%		
正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)	-1.7%	5.8%	12.4%		
総資産回転率(経常収益/総資産)	305.3%	284.0%	248.8%		
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/経常収益)	26.8%	28.8%	31.6%		

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
<p>令和2年度の経常収益は、葬祭場管理運営事業収益の増額及び労働者派遣事業に係る国庫補助金の増額がありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等による受託事業の休止や減少により、受託事業収益は大きく減少しました。</p> <p>一方、受託事業減少に伴う支払配分金の減額や、新型コロナウイルス感染症による普及啓発活動等の事業縮小及び年度途中の職員退職などにより、例年と比べ経常費用が減少したことから、一般正味財産は増加しました。</p>	<p>安定した財政運営を続けるためには、受託事業収益の拡大が必要です。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響はいつまで続くか不透明であり、企業等における事業体制の見直し等から受注の確保は更に厳しくなると見込まれます。</p> <p>また、会員確保においては「改正高齢者雇用安定法」の施行など、高齢者を取り巻く社会情勢等の変化により、新規会員の確保が懸念されています。</p> <p>今後は、広報媒体等を活用した効果的、効率的な普及啓発活動を充実させ、シルバー事業の認知度を向上させるとともに、新たな就業先の開拓や会員登録に至っていない高齢者の掘り起こしに努め、多くの会員へ就業の場を提供することで受託事業実績の拡大を図ります。</p>	<p>労働者派遣事業に係る国庫補助金の増額及び受託事業収益の拡大に引き続き努めていただきたいと思います。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、新たな就業先の開拓、シルバー人材センターの認知度向上、登録会員数及び就業者数の増加に努めることも期待します。</p>

### (2) 役員・職員の状況(令和3年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	1	0	1	8	0	2
職員	22	0	9	11	0	3

#### 【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解

・理由

・今後の方向性